

## タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和6年10月3日(木) 午後7時～午後8時30分  
場 所 鶴ヶ岡コミュニティセンター（鶴ヶ岡二丁目町会）  
参加者 16人



### 主な意見等

参加者 街灯の設置についてです。私の家の付近に街灯が無く暗いので、いたずらをされたりしてしまうことがあります。防犯対策として、新しい街灯を設置してほしいです。

また、横断歩道への歩行者用の信号について、ビバホームとカスミの間や、その先にある県道付近のベルクの間にも歩行者用の信号が無いので作ってほしいです。

市長 防犯灯について、市役所としては一定の間隔の中で設置していくということになっておりまして、場合によっては、交差点付近や、あるいは公園で暗がりになりそうな場所等に設置していることもあります。この鶴ヶ岡二丁目は畑に隣接しているところは少ないですが、状況によっては農作物への影響もありますので、カバーをつけながら、空いている場所を照らす等の工夫が必要になります。場所を教えてください確認させていただきたいと思います。

信号機については、市内でも結構信号の設置要望というのが多くありますが、行政では勝手にできず、県警本部、公安委員会の方で信号設置となります。埼玉県全域での要望があるので、膨大な予算になり、例えば、ふじみ野市・富士見市・三芳町、この2市1町を管轄している東入間警察署は、近年だと、その警察署管内で年に1カ所付けばいい方だというくらい厳しいようであります。ですが、ここで新たにそ

ういうお声をいただきましたので、これも併せて警察の方には要望する事項として、折り込みたいと思います。貴重なご意見、ありがとうございました。

参加者 毎年言っていますが、鶴ヶ岡中央公園の北側に鶴小に行く通学路では、一時停止を無視して捕まっている車が多いです。事故が起きてからでは遅いので、以前要望したのは南北の道に沿った電柱に、元福岡の電柱に貼られているような「通学路 飛び出し注意」の看板がほしいです。そういった看板を中央公園や、反対側の畑の付近の電柱等に貼ってほしいです。警察の事情は分かりませんが、毎週取り締まりを行っていますので、できれば、電柱に警告等をつけていただければと思います。

市長 去年のタウンミーティングでも話があり、つけられそうなので設置を進めますと担当から言われていたのですが、私もてっきりつけたものかと思っていましたが確認します。

参加者 下に「鶴ヶ丘小学校」と書かれた小さな注意書きの看板はありますが、例えば上下3メートルくらいの、先ほど言った元福岡の方にあるような看板が欲しいです。設置すると回答は昨年いただいていたのですが、3、4回言っていますが未だについていないです。

市長 再度伝えます。ただ問題は、つけられそうなきに、あまり視界を遮ってしまうようなつけ方をしてしまうと他に危険が及ぶ場合もありますので、担当が現地で確認します。

また、電柱も市の所有物ではなく、勝手に立て札をつけられないため、その点についても確認をとりながら進めていきたいです。

参加者 亀久保の交差点から、上福岡の踏切へ行く道で歩道の拡張工事を行っているようなのですが、工期や工事範囲等をお伺いしたいです。

市長 この県道の工事は、埼玉県が主導で進めている事業になります。我々も、地元の自治体として協力をさせていただいております。そのため、1軒1軒と交渉して皆さんに下がってもらうとなると、相当時間がかかることになります。当然、りそな銀行さんもこの事業に協力するという姿勢で、今、建物の査定等様々なことを行っております。県としてもこのように埼玉県全体の中の県道を整備しようということで、かなり時間がかかっており、県内全域の中で、ふじみ野市の中を通る県道を整備するにも、年に割くことのできる県の予算が限られているため、相当時間がかかるものだと思いますが、工事自体は、県

全体の県道を拡げていこうという事業ですので、引き続き市として県へ協力していきます。

参加者 公園の剪定についてです。毎年、公園緑地課の方をお願いしているのですが、今年は要望したところの一部が整備されておらず、再度お願いをしていますが未だに対応してもらえません。

夏場に草がとても伸び、公園緑地課と相談をしましたが、我々が剪定をする場合、手で作業するとかなり時間がかかるので、機械で剪定を行いたいと考えていたところ、「それは講習を受けて、許可が無いと行えません。他の地区では車に傷をつけてしまう等事故の問題もありますので、市で支給している鎌等で除草してください」と言われました。出来ればこの要望に対して、いつ頃に剪定をするのか連絡していただきたいです。

市長 市内に公園が大小あわせて160箇所以上あり、昔と比べて、どうしても公園等の除草や剪定の作業については、大変申し訳ないのですが、市の財政の中で数か月おきに行っていたものが、頻度が少し延びているという状況はございます。

こればかりは社会保障が増えていくと、色々なものの間隔を少し延ばすことがあります。公園の整備については、愛好会や市民の方のご協力のおかげで今があるというのは重々承知のところではあります。

今年は特に除草のタイミングが悪く、とても暑い中で公園の草も伸び方が尋常ではない状況となっております。こうしたこともあり、余計に早く何とかしてほしいというお声も多くあります。順次担当が対応した上で、剪定につきましては本日もお声をいただきましたので、しっかり対応させていただきたいと思っております。我々も何とか力を尽くしていきたいと考えておりますので、ご協力、本当にありがとうございます。

参加者 公園の遊具についてですが、今、鶴ヶ岡中央公園にある遊具はブランコ2台だけで、あかまつ公園には滑り台が1台だけです。子どもはもちろん、お母さんたちからももう少し遊具を増やすことができないかなという話を聞くのですが、増やせますか。

市長 こちらについても順次という形になりますが、ふじみ野市の場合は、平成18年の大井プールの事故以来、安全点検には本当に力を入れている中でございます。特に公園の遊具含め、公共施設の安全点検にも力を入れている中で、修繕できるものは修繕というのを優先して

対応してきたのですが、危険な遊具につきましては撤去しております。しかし、撤去後に新たに設置しようとする、例えば、ブランコの周りがある柵については、昔の柵は比較的狭いですが、今は安全領域が広がっており、その枠を広くとらなければなりません。そのため、今までより広いスペースが無いとつけられなくなってしまったということがあります。さらに一定規模のものになってきますと、遊具をつけられる公園が160箇所もなく、やはり、広い公園の中で撤去か修繕を優先していったがために、中々、増設が追い付いていない状況になっております。

また、周辺の方々からご意見等を伺った際に、遊具はこの程度で良いからお年寄りが座れるようなベンチを増やしてくれないかというご意見もあります。

中央公園やあかまつ公園について、もし遊具を増やしてほしいという要望であるならば、どのような遊具であればどのような形で増やすのかということを含めて、考えていきたいと思っております。

参加者 二丁目町会では近くに人が集まるところが何もありません。

遠いと道路も横断する形で大変なので、大きくなくてもいいので、気軽に借りられるなど常に人が集まれる場所が近くにほしいです。

市長 エリアの中では難しいかもしれませんが、ここも一応分館ではあります。他のエリアでも同様のケースはありますが、エリア内であれば良いなというところで、ご要望として承ります。

参加者 12年前くらいに鶴ヶ岡中央公園のトイレが汚いので見てくださいと伝えたら、その後すぐに対応して立派なトイレにいただき、市民の声を聞いてくれるんだと非常に感動しました。10年越しではありますが、改めて感謝させていただきたく思います。

市長 ありがとうございます。お褒めの言葉をいただき大変恐縮です。

どういう経緯か事情は様々ですが、いただいたお声をすぐに実行できることと、できないことと、あとはトイレの改修についても、市内にたくさんある公園の中で、順番に対応していかないといけないというものもあります。ご意見いただいたことを実行に移すということは、実行に移しやすい状況だったのだらうと思っております。必ずすぐできるかというところではない場合もあり、タイミングが良かったのかと思っておりますが、ありがとうございます。

参加者 毎年11月に防災訓練を鶴小で行っていますが、防災訓練の内容が毎

年同じでマンネリ化しているように思えます。

町会ごとに参加者を募って鶴小に行きますが、年々参加者が減っているのが工夫が必要かと感じています。防災訓練とはいえ災害が実際に起きたとき、現在の訓練で本当に大丈夫なのかと考えます。鶴小に行くまでの道がふさがれたときはどうするのか、体育館に集まったらどうするのか、簡易ベッドをつくったりする体験等を行ってはどうかとお話をしているのですが、残念ながら去年までは同じ内容の繰り返しで、このままでは参加者が増えないと思います。この改善についてはいかがでしょうか。

市長 改善と言いますよりも、これだけの訓練をしているのは埼玉県の中でふじみ野市だけで、参加者数も、他市ではふじみ野市のような実践型の訓練はございません。昔は、旧大井町も上福岡も同じだったと思うのですが、学校の校庭で見せる訓練をしていました。皆さんに誤解されているのが、災害が起きたらまず身近なところで身を守る。そして、鶴小まで行く前に身近な公園でも広場でも、そこに人が固まるべきなのです。鶴小の避難所に行くというのは、自宅に住めない、もう家が崩れそう、あるいは余震がきたら潰れてしまうであろうといった方のお話になります。水や電気、ガスが来ていなくても、家で寝ることができるのなら家で寝ることを基本としています。

鶴小は、家にいたら潰れる等の危険性がある人たちが集まる場所です。学校に入りきらない場合は、もしかすると一晩は車の中かもしれないという想定をもっと広く市民の方々にお伝えしなければいけないというふうに思いました。

災害はこんなときはこうじゃないかということを想像しながら訓練をする。私がいつも職員に言っているのは、訓練は上手にやることではなくて、訓練した内容を振り返って、これが足りないだろうな、本当の災害だったらもっとこうだろうな、それを振り返りながら検証することが大事だということです。

色々なところで何をやっているのか分からない、全体像が見たいとよく言われます。そこで、今年の訓練で映像をしっかりと制作し皆さんにご覧いただけるよう、災害のセミナーのようなものを、関係団体も含めて行えれば良いなと思っております。

このようなことも構想としてありますので、今の貴重なご意見、形にしていきたいと思えます。

参加者 現在、奉仕団に行っており、その中で私たちも今までは道具を持ってきていました。道具自体が倉庫にあるのは分かっているのですが、実際に使えるのかという問題がありますので、実際に倉庫にある道具を使って炊き出しをするという方針に変えていきたいと思っております。

市長 ご協力ありがとうございます。